



## 伊豆大島災害廃棄物の特徴

- 大島町の災害廃棄物量は約11万t
- 家屋等から発生量が約6000t, 流木約31000t, 土砂約71000t
- 災害で出た関連土砂等は, 砂防施設で約15万t, 港湾施設で約6万t、計21万トン
- 災害廃棄物の特徴は, 家屋等からでる廃棄物が少なく, 土砂と流木がほとんどである
- 流木量が土砂量と比較しても多いのは, 今回の崩壊が多くが立木を巻き込んだ林地での表層崩壊であったことにある

## 災害廃棄物等処理見込量

項目	具体例	処理方法	処理見込量 (t)
廃置・布団等	浸水被害等を受けた廃置、布団など	島外処理	200
安定埋立品目	廃プラスチック、ガラス・陶磁器くず	島内処分	200
廃自動車・廃家電	家電製品(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、パソコン)、自動車、石油ストーブなど	島内業者等引取	400
金属	解体家屋からの金属製建具、家具等	島内業者引取	(50)※
建設混合廃棄物	上記に含まれない被災家屋廃材・廃家具などの可燃系の混合物	島外処理	4,400
コンクリートがら	コンクリート	島内利用	2,800
木くず	流木等(木質系の粗大ごみ(約200トン)を含む。)	島内処理 島外処理・利用	31,400
土砂	市街地に流入し廃棄物と混在している堆積土砂、泥状物など	島内利用	71,000
合計(廃自動車・廃家電を除く)			110,000

※括弧書き数値は、分別等により回収を見込む内数

大島町災害廃棄物等処理計画による

## 災害家屋等(平成25年12月2日) 単位:軒

	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	集計
住家	71	15	25	92	203
	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	集計
非住家	62	9	25	86	182

大島町災害廃棄物等処理計画による

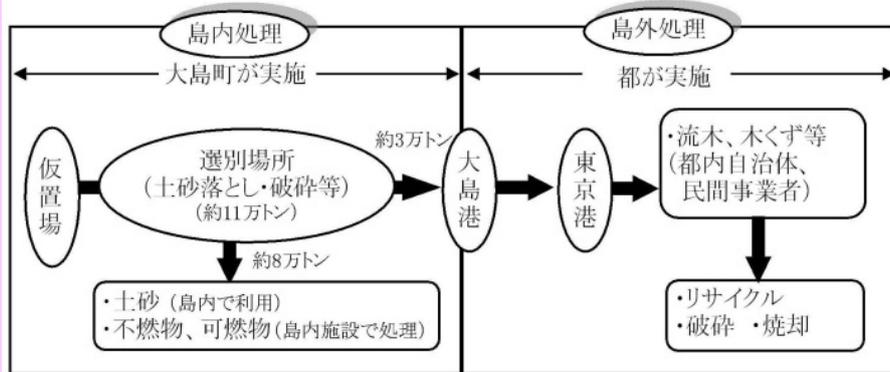
## 関連事業の土砂等処理見込量

項目	具体例	処理方法	処理見込量 (t)
関連事業	砂防ダム等の土砂等	島内利用	150,000
	港湾施設等の土砂等	島内利用	60,000

※東京都から一次又は二次仮置場に搬入する流木混じり土砂等

大島町災害廃棄物等処理計画による

## 大島町及び東京都における災害廃棄物処理計画の所管



大島町災害廃棄物等処理計画による

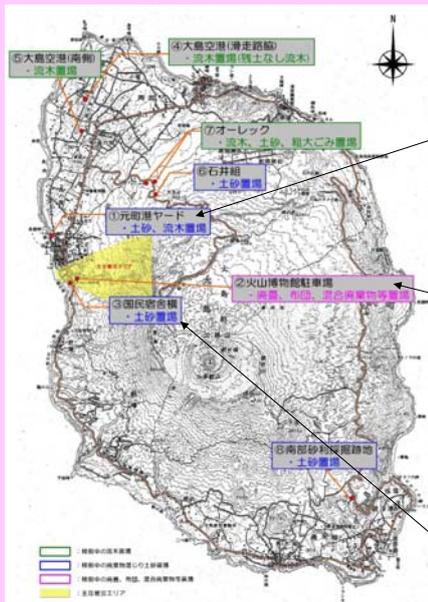


災害現場に残る土砂と流木



被災家屋から土砂を除去しているボランティア

## 一次仮置場の状況 (平成25年11月14日現在)



災害廃棄物・未分別—荒分別の状態



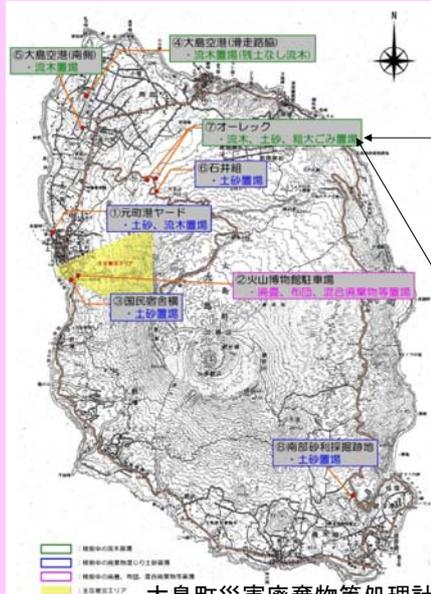
火山博物館駐車場の家屋ゴミの状況 (分別)



国民宿舎の横の分別された土砂置場

大島町災害廃棄物等処理計画による

## 一次仮置場の状況 (平成25年11月14日現在)



オーレックの土砂と混合した流木



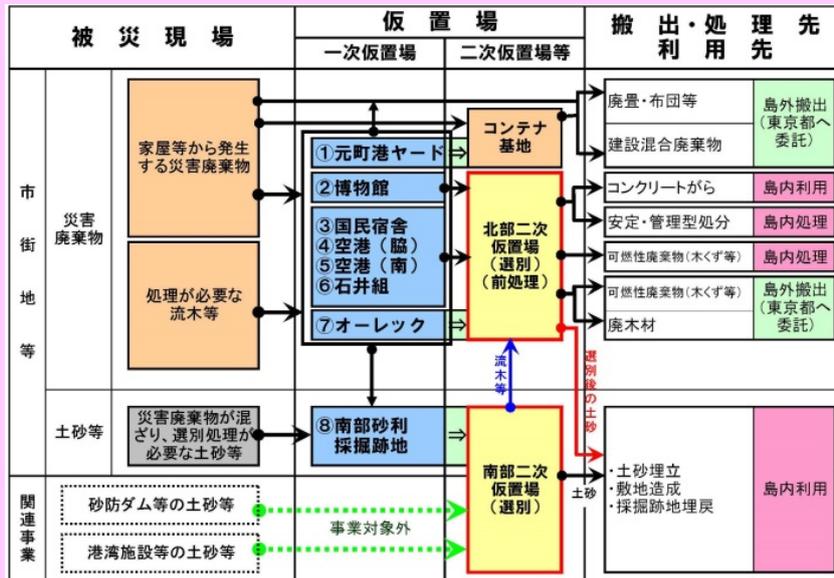
流木だけに分別された仮置場

## 一次仮置場一覧 (平成25年12月2日現在)

整理番号	名称	所在地	災害廃棄物等の種類	開設時期	稼働状況
①	元町港ヤード	元町1丁目19	土砂、流木	発災直後	10月末受入終了、土砂を⑧へ搬出中
②	火山博物館 駐車場	元町字神田屋敷	廃畳、布団、 混合廃棄物	発災直後	11月末受入終了
③	国民宿舍横	元町字神田屋敷	土砂	10/28	11/24受入終了 土砂を⑧へ搬出中
④	大島空港 (滑走路脇)	元町字野地	流木	11/14	使用中
⑤	大島空港 (南側)	元町字赤禿	流木	11/14	12/2受入終了
⑥	石井組	元町字上山	土砂	発災直後	10月末受入終了、 土砂を⑧へ搬出中
⑦	オーレック	元町字上山	流木、土砂、 粗大ごみ等	発災直後	使用中
⑧	土砂採掘跡地	差木地サド 1084外	土砂	発災直後	土砂受入中

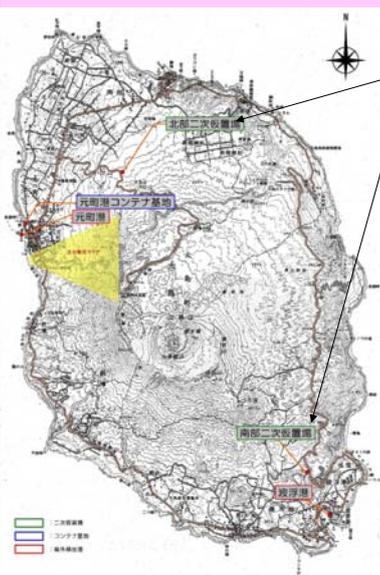
大島町災害廃棄物等処理計画による

## 仮置場ごとの搬入・搬出の流れ



大島町災害廃棄物等処理計画による

## 二次仮置場、コンテナ基地の概要



整理番号	名称	所在地	開設時期	業務概要
1	北部二次仮置場	元町字上山	平成26年1月	流木等の前処理(選別、破砕)
2	南部二次仮置場	差木地サド1084外	平成26年1月	流木混り土砂等の選別

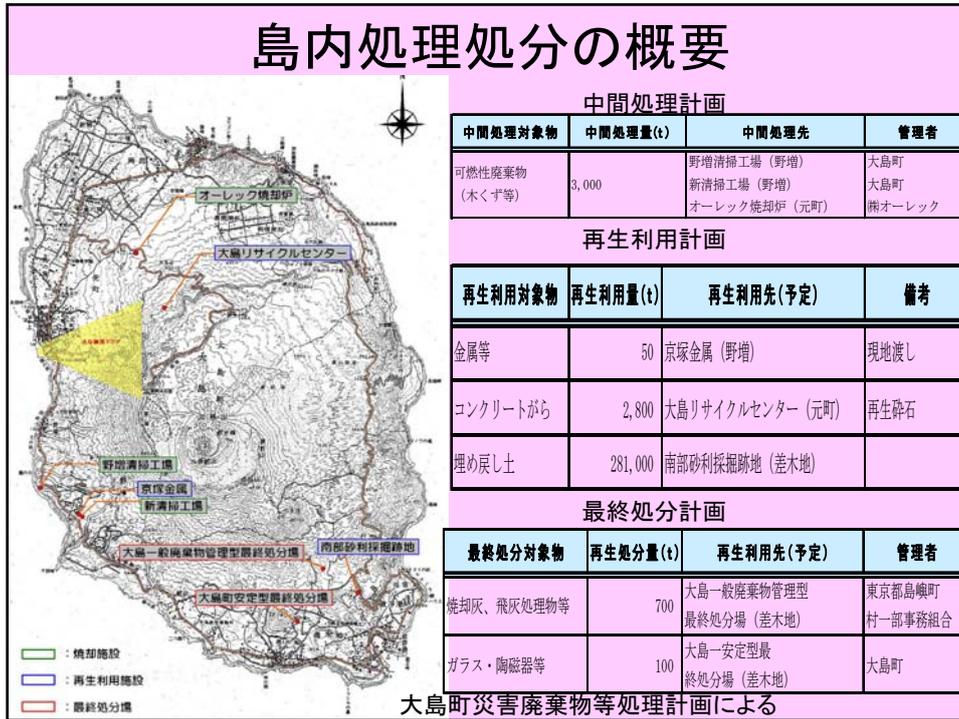
  

項目	北部二次仮置場	南部二次仮置場
コンクリートがら	◎	×
安定埋立品目	◎	×
廃畳・布団等	×	×
粗大ごみ	○ (土砂付着が少ない物)	×
流木	◎	○(混入)
廃自動車・廃家電	×	×
土砂	○(混入)	◎
建設混合廃棄物	×	×

◎：優先的に購入する品目  
○：状況に応じて搬入する品目  
×：搬入不可

大島町災害廃棄物等処理計画による

# 島内処理処分の概要



## まとめと課題

- 多量に発生した土砂と流木の処理が最も大きな課題
- 流木や焼却できる家屋ゴミの量は島内の年間処理量 (約3300t) の年約10倍となり、島内では処理できない → 島外処分
- 土砂処理は、火山噴火対応の経験あり → 島内処分
- 島内の環境保全や復興のために、早期の処理が必要 → 平成26年12月には終了予定

		11	12	1	2	3	4	5	6	...	...	11	12	1	2	3
島外搬出 (東京都へ委託)	廃畳・布団等		緊急対応													
	建設混合廃棄物		緊急対応													
	廃木材															
	可燃性廃棄物(木くず等)															

大島町災害廃棄物等処理計画による